



Airdog Japan

株式会社エアドッグジャパン



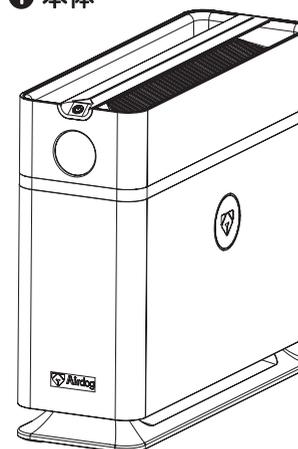
 **Airdog**
X1D

取扱説明書

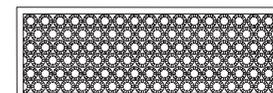
別紙『お手入れ&メンテナンスガイド』とあわせてご参照ください

梱包内容	2
安全上のご注意	3
設置方法	7
モニターの説明	9
スリープモードの説明	10
リモコンの説明	11
電源のオン・オフ	13
風量の調節	15
オートモード	17
スリープモード	19
チャイルドロック	21
リセットボタン	23
Airdogのお手入れ方法	
背面カバーの外し方	27
お手入れのタイミング	28
お手入れするパーツ	29
プレフィルターのお手入れ	31
イオン化ワイヤーフレームのお手入れ	32
集塵フィルターのお手入れ	33
オゾン除去フィルターのお手入れ	35
大気センサーのお手入れ	36
故障かな?と思ったら	37
よくある質問	39
仕様	41
お問い合わせ	42

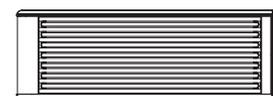
① 本体



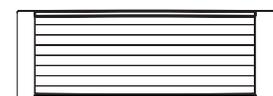
② オゾン除去フィルター



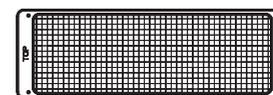
③ 集塵フィルター



④ イオン化ワイヤーフレーム



⑤ プレフィルター



※各フィルターは予め本体に格納されています。

⑥ リモコン

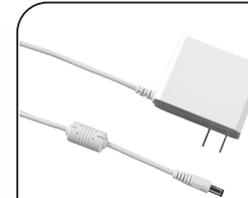
リモコン電池: CR2032

付属品の電池は動作検証用となり、短時間で消耗する場合があります。



⑦ ACアダプタ

(電源コード&電源プラグ)



⑧ 集塵フィルター専用ブラシ



集塵フィルターをお手入れする際に用いるブラシです。

⑨ イオン化ワイヤーフレーム専用クリーナー



イオン化ワイヤーフレームをお手入れする際に用いるクリーナーです。

はじめに

このたびは、空気清浄機Airdogをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に、必ず本書をお読みいただき、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書とともに、いつでも見られるところに大切に保管してください。

本製品は、空気中に浮遊する細かい粒子やアレル物質(花粉、ダニの死骸やフン)、細菌、ウイルス、ほこりや臭いなどを除去することを目的としています。キッチンなどで換気扇の代わりに使用するなど本書に記載されていない方法では使用しないでください。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、この電気器具を安全に正しくお使いいただき、

ご自身や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。

注意事項を「警告」、「注意」、「注記」に区分して明示していますので、

お使いの際には、必ず守ってください。

 警告	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
 注意	この表示に従わずに、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を「図記号」で区分して説明しています。

-  「してはいけないこと」を表しています。
 -  「水をかけてはいけないこと」を表しています。
 -  「濡れた手で触らないこと」を表しています。
 -  「分解してはいけないこと」を表しています。
-  「しなければいけないこと」を表しています。
 -  「電源プラグを抜くこと」を表しています。

■使用・取り扱いについて

-  子どもや補助を必要とする方だけで使用しない。子どもに遊ばせない。けがや故障等の原因となります。保護者など安全面で責任の持てる方の手助けのもと使用してください。
-  お客様自身で分解や改造、修理をしない。感電や火災の原因となります。修理が必要なときは、お買い上げの販売店またはカスタマーセンターにご相談ください。また、お客様自身で分解や改造、修理をした場合は保証の対象外となります。
-  吹出口や吸込口から本体内部に指や棒、飲料水、タバコの灰、金属類や燃えやすいものなどを入れない。火災・感電や故障の原因となります。
-  **警告**
 -  本体を水などの液体、(飲料水、海水、ペットの尿など)で濡らしたり、本体ごと水につけたりしない。ショートして感電や火災の原因となります。フィルターは必ず本体から取りはずして掃除してください。
 -  火のついたタバコや線香などを近づけない。引火や本体への吸引による発火、発煙の原因となります。
 -  可燃性のもの(ヘアスプレーや殺虫剤など)を本体の近くで使用しない。スプレーから噴射されたガスに引火して爆発するおそれがあります。
 -  異常(こげくさい、異音、発熱、発煙、通電不良など)を感じたら運転を中止して電源プラグを抜く。そのまま使い続けると火災・感電・けがの原因となります。すぐに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店、またはカスタマーセンターにご連絡ください。
 -  落下させたり、強い衝撃を加えたりしない。火災、やけど、破損や故障、また破損箇所ではけがをしたりするおそれがあります。
-  本体の上に乗ったり、座ったり、寄りかかったり、重いものを載せたりしない。転倒してけがをしったり、破損したりするおそれがあります。
-  吸込口や吹出口を、洗濯物や布、カーテンなどでふさがない。空気の循環が悪くなり、発熱や発火の原因となります。
-  **注意**
 -  発煙タイプの殺虫剤や消臭剤を使用するときは運転しない。製品内部に蓄積した薬剤成分が、吹出口から放出され、健康を害する原因となります。殺虫剤や消臭剤の使用後は、十分換気してから運転してください。
 -  燃焼器具と一緒に使用するときは、こまめに窓を開け、換気をする。本製品を運転しても、換気の代わりにはなりません。換気が不十分な場合、一酸化炭素中毒の原因となります。
 -  移動するときは、以下のことに注意する。
 -  電源プラグをコンセントから外してください。コードを踏みつけて転倒や破損の原因となります。
-  運転中に本体を動かさない。故障や誤作動の原因となります。
-  **注記**
 -  本体の近くで、シリコーンを配合した化粧品等[※]を使用しない。イオン化ワイヤーフレームにシリコーンが付着すると洗浄効果が低下するおそれがあります。

※ヘアケア商品(枝毛コート液、ヘアームース、ヘアトリートメントなど)、化粧品、制汗剤、静電気防止剤、防水スプレー、つや出し剤、ガラスクリーナー、化学ぞうきん、ワックスなど。

■設置場所について

- ⊘ 不安定な場所や高いところに置かない。
落下や転倒によるけがや故障の原因となります。

- ⊘ 乳幼児の手が届く場所に置かない。
つかまり立ちや寄りかかったりすると本製品が動いたり転倒したりして、けがや故障などの原因となります。



警告

- ⊘ 浴室など、高温や多湿、水のかかる場所に置かない。
漏電による火災や感電の原因となります。

- ⊘ 油や可燃性ガスなどを使用したり、漏れるおそれのある場所で使用しない。
引火や本体への吸引による発火、発煙、また樹脂の劣化やひび割れによるけがの原因となります。

- ⊘ 腐食性ガスや金属製のホコリのある場所で使用しない。
引火や本体への吸引による発火や発煙の原因となります。

- ⊘ 直射日光の当たる場所に置かない。
変形、変質変色の原因となります。

- ⊘ ストーブやヒーターなど高温になる場所のそばに置かない。
熱による変形、変質変色の原因となります。



注意

- ⊘ 動植物に直接風があたるところで使用しない。
動植物に長時間風が当たり、乾燥する原因となります。

- ⊘ 電磁調理器やスピーカーの近くなど、磁気の多いところで使用しない。
正常に作動しない場合があります。

- ⊘ 火災警報器の近くで使用しない。
火災警報器に吹出しの風があたると火災警報器の反応が遅れたり、反応しない場合があります。

注記

- ⊘ 超音波加湿器やアロマ噴霧器、次亜塩素酸水との併用はおすすめいたしません。
超音波加湿器は、超音波の振動で水の表面を弾けさせて霧状の水滴を発生させます。
加熱処理やフィルターを通していないため水道水の中に含まれるミネラルなどを含んだ水蒸気が部屋に広がり、これが原因で本体周りやフィルターに白い結晶が固着し、異音発生の原因となる可能性があります。
※次亜塩素酸水の噴霧器やアロマ噴霧器も様の現象が起こる場合があります。

■電源コード、電源プラグについて

- ⊘ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使用しない。
タコ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

- ⊘ 電源コードや電源プラグが破損した場合や、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しない。
感電、火災の原因となります。電源プラグやケーブル類に破損を見つけたら、カスタマーセンターへ修理をご依頼ください。

- ⚠ 電源プラグは根元まで確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電やショート、発熱による火災の原因となります。

- ⊘ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。
傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる、挟み込ませるなどをしないでください。
故障、発熱、感電、火災などの原因となります。



警告

- ⊘ 人が通る位置に電源コードを這わせない。
コードに足を引っかけて転倒したり、本体やコードが損傷したりする原因となります。

- ⊘ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電するおそれがあります。

- ⚠ 電源コードは必ず電源プラグを持って抜く。
断線による感電、発火の原因となります。

- ⚠ 長期間使わないときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。
絶縁劣化による感電、漏電火災の原因となります。

- ⊘ 運転中に電源プラグを抜かない。
発熱による火災や感電の原因となります。

- ⚠ 定期的に電源プラグのホコリを乾いた布でふき取る。
ホコリがたまると、湿気などで絶縁不良になり火災・感電の原因となります。

■周囲への影響について



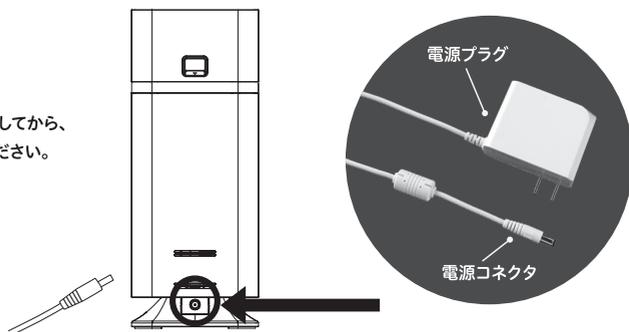
警告

- ⚠ 病院や高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器がある場所では、管理者の指示に従い適切に使用する。
電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼすおそれがあります。

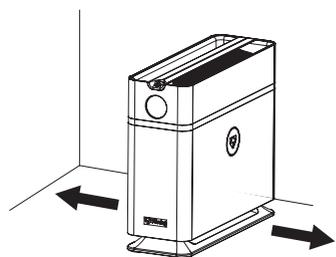
設置方法

本体を設置 & 接続する

本体に電源コネクタを接続してから、電源プラグを差し込んでください。

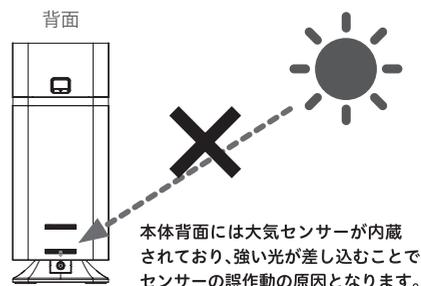


本体は左右50cm以上離して置くことをおすすめいたします。



本体の左右2方向に空気吸引口があり、効率良く空気を循環させるためです。
※本体は必ず安定した場所に設置してください。

背面



本体背面には大気センサーが内蔵されており、強い光が差し込むことでセンサーの誤作動の原因となります。

※太陽が低い位置にある時、直射日光がセンサー内に差し込みやすいため、その際は本体の向きや置き場所を変えてください。

超音波加湿器・次亜塩素酸水やアロマ噴霧器などの近くで使用しないでください。

超音波加湿器は、超音波の振動で水の表面を弾けさせて霧状の水滴を発生させます。加熱処理やフィルターを通してないため水道水の中に含まれるミネラルなどを含んだ水蒸気が部屋に広がり、これが原因で本体周りやフィルターに白い結晶が固着し、異音発生の原因となる可能性があります。※次亜塩素酸水やアロマの噴霧器も同様の現象が起こる場合があります。

超音波加湿器やアロマ、次亜塩素酸水との併用はおすすめいたしません。

油汚れなどで劣化や故障が早まる可能性が高い為、キッチンからなるべく離れた場所に設置してください。

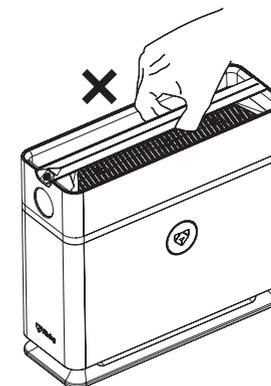
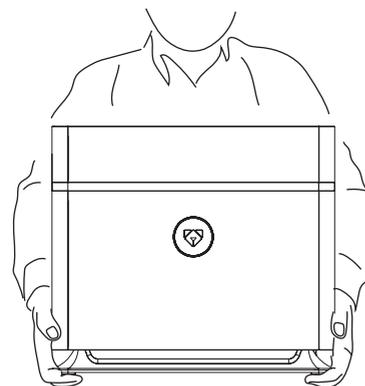
ヤニの付着などで故障・不具合が起こりやすいため、喫煙所での使用はおすすめいたしません。
ご使用になられる際は小まめなお手入れを行ってください。

電源コードを巻いたり、本体の下に重ねたりしないでください。
電波干渉によって動作が不安定になる恐れがあります。

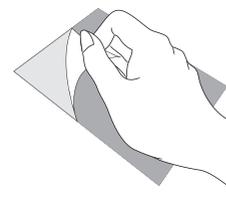
本体の持ち方

○ 本体側面を両手で持ち上げてください。

✕ 上部のバーは持たないでください。



キズ防止のための保護フィルムを剥がしてからご使用ください。



モニターの説明



空気の汚れ具合を数値と色で示します。
(AQI)

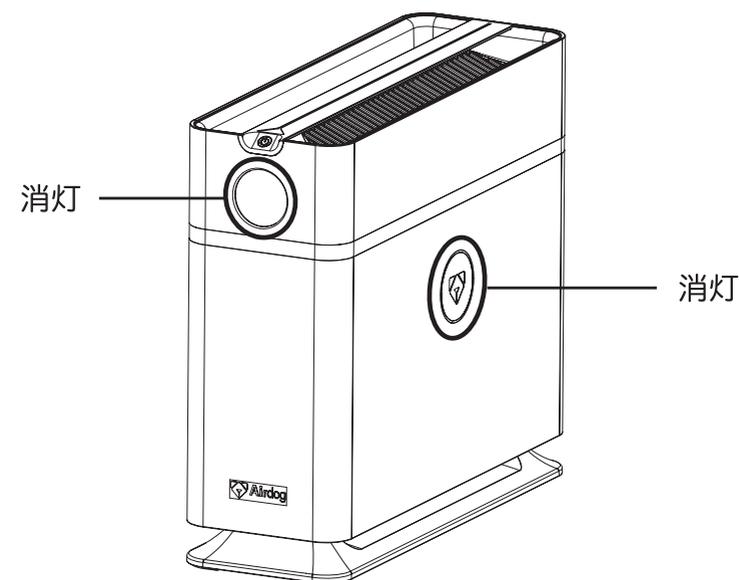
数値が低い = 空気がキレイ
数値が高い = 空気が汚い

※数値が下がらない場合は、電源・操作ボタンを
3秒以上押し続け、電源オフにして、大気センサー
をお手入れしてください。(36ページ参照)

ディスプレイ 数値	色	空気の状態
7	緑	キレイ
50	黄緑	普通
100	オレンジ	汚い
150	赤	とても汚い

スリープモードの説明

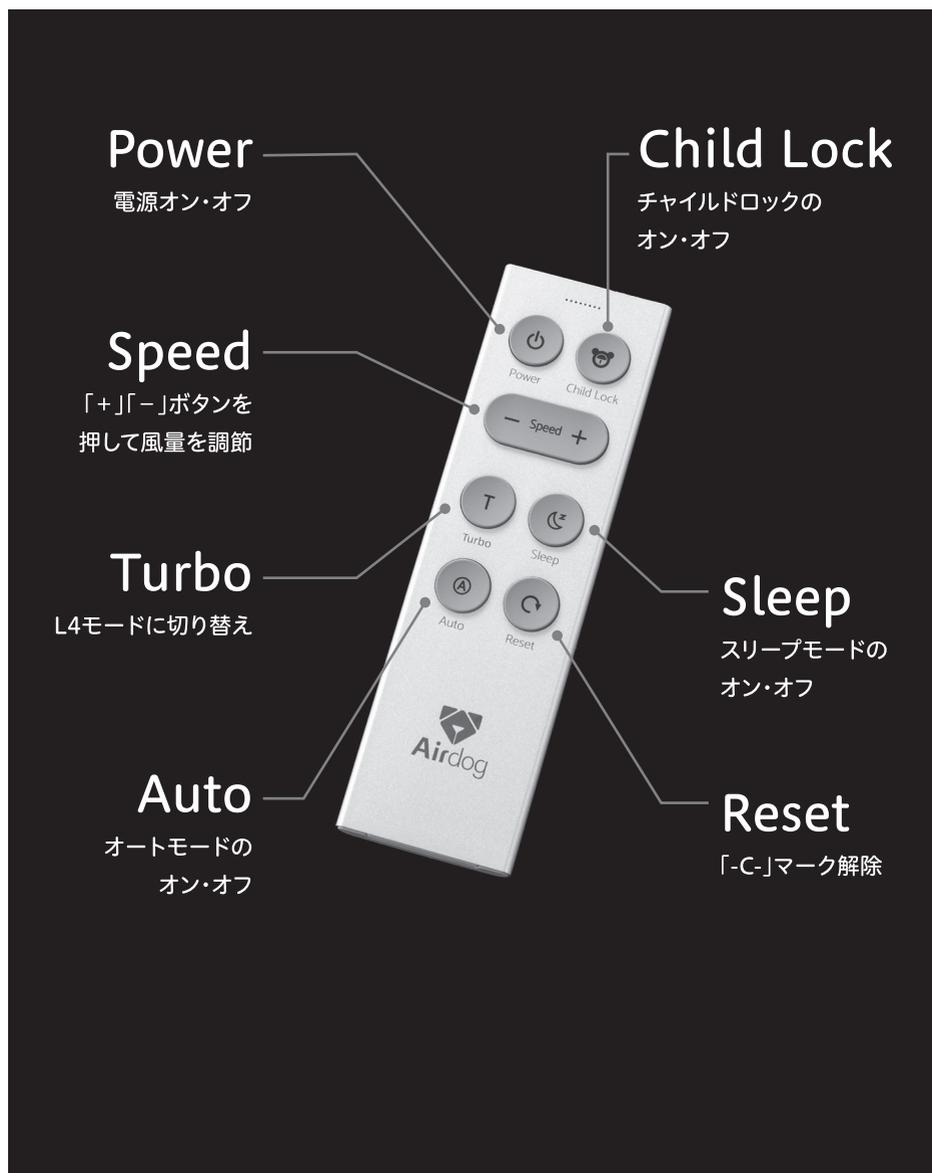
スリープモード



点灯している光がまぶしい時は、スリープモードに切り替えると消灯し、
弱モードで運転します。(19～20ページ参照)

就寝時にお使いください。

リモコンの説明



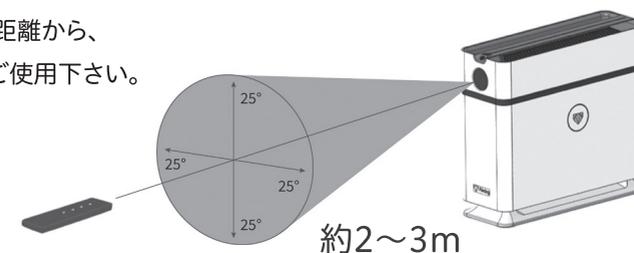
ご使用前に



リモコンをご使用する前に、
リモコン底部に付いている透明な
絶縁フィルムを抜き取ってください。

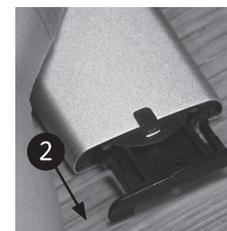
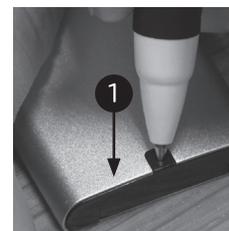
リモコンの有効範囲

約2～3m以内の距離から、
図の角度範囲でご使用下さい。



電池交換方法

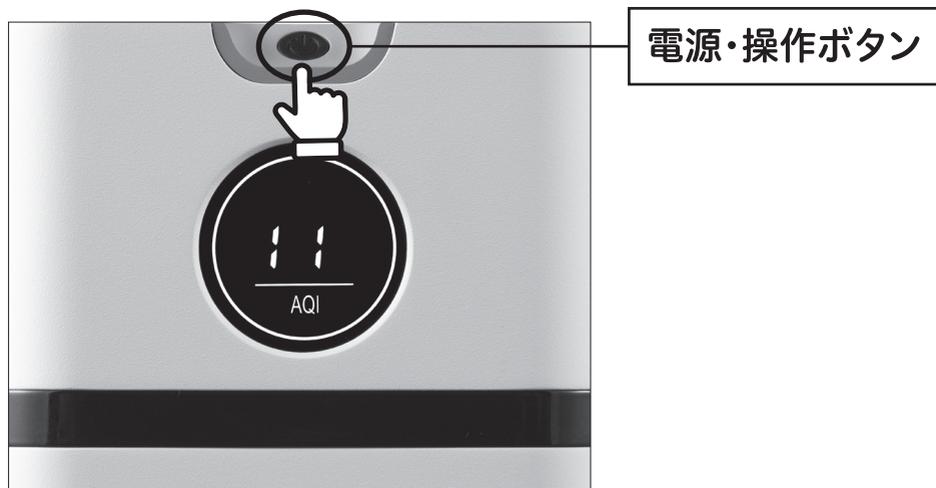
リモコン下部にある穴にボールペン先を引っ掛け、矢印の方に動かしてください。



電池：CR2032×1個
※付属品の電池は動作検証用
となり、短時間で消耗する
場合があります。

電源のオン・オフ

電源・操作ボタンで操作する場合



ON

電源・操作ボタンを **1回押す** と
オンになりオートモードが
スタートします。

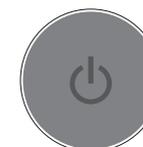
OFF

電源・操作ボタンを
3秒以上押し続ける と
オフになります。



※電源をオンにした際に、「---」、「000」、3桁の数値
などが表示されますが、各種センサーの準備中の
サインですので、故障ではありません。

リモコンで操作する場合



Power

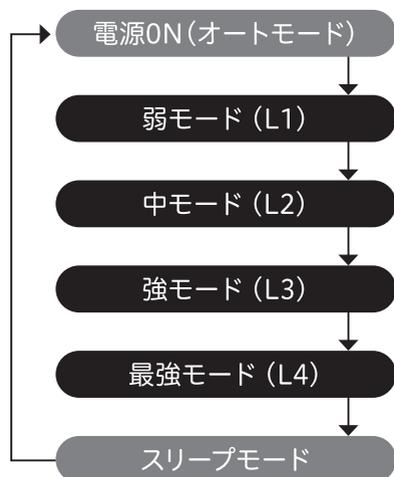
電源ボタン(Power) を押して
オン・オフを切り替えることができます。

風量の調節

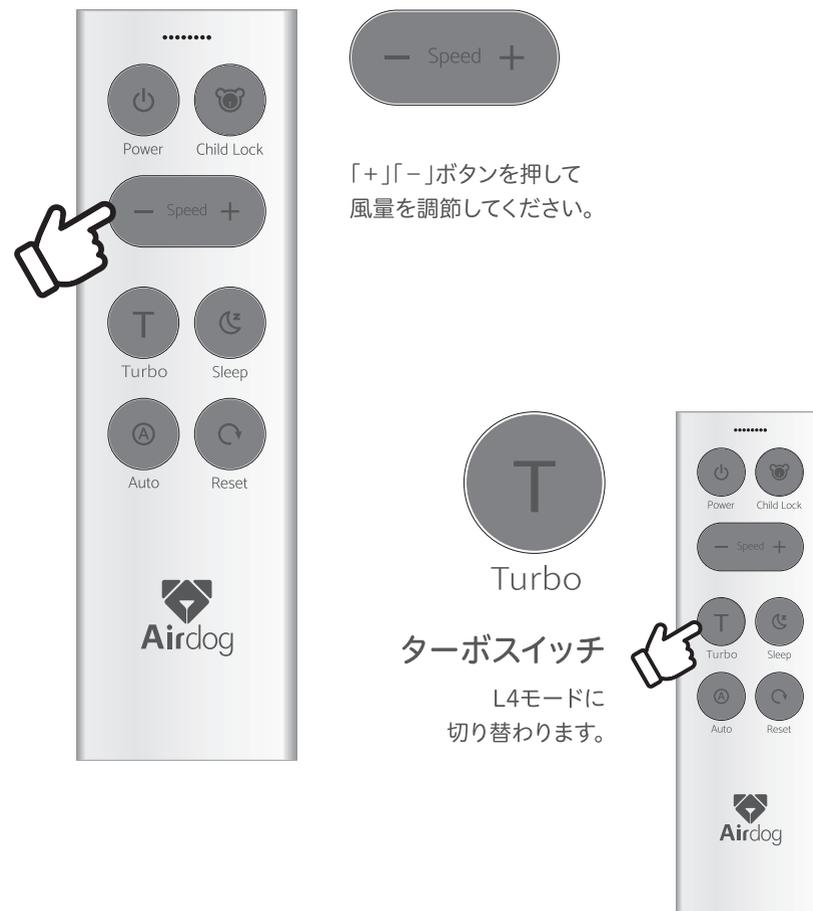
電源・操作ボタンで操作する場合



電源・操作ボタンを押す毎にモードが切り替わります。



リモコンで操作する場合



「+」「-」ボタンを押して風量を調節してください。

ターボスイッチ
L4モードに切り替わります。

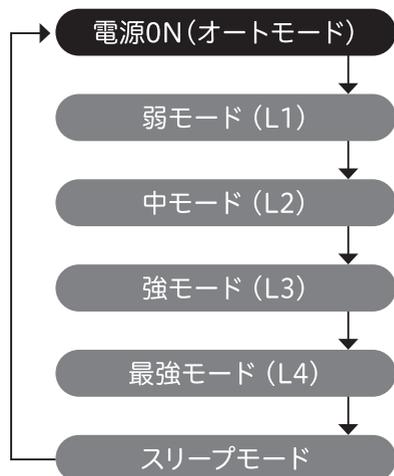
オートモード

空気の汚れに応じて、
風量を自動調節する機能です。

電源・操作ボタンで操作する場合

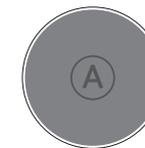


オートモードに切り替わると (A) が点灯します。
電源・操作ボタンを押す毎にモードが切り替わります。



※センサーが感知してから
風量モードが変わるのに
10分ほどかかる場合が
ございますが
故障ではありません。

リモコンで操作する場合



Auto

「Auto」を押すことで
オートモードの切り替えができます。

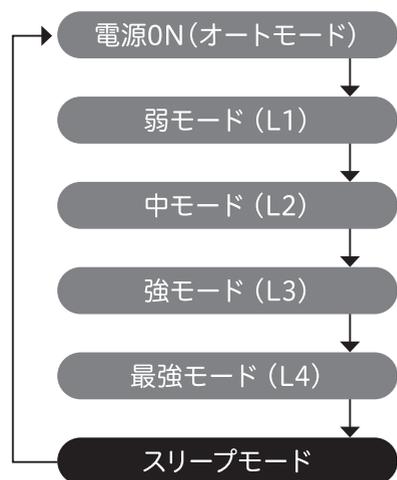
スリープモード

睡眠を邪魔しないよう、風量を弱モードへ、
そして本体のライトをオフにするモードです。

電源・操作ボタンで操作する場合



スリープモードに切り替わると ☾ のみ点灯します。
電源・操作ボタンを押す毎にモードが切り替わります。



このライトも消灯します。

リモコンで操作する場合



Sleep

「Sleep」を押すことで
スリープモードの切り替えができます。

チャイルドロック

小さなお子様による空気清浄機の誤操作を防ぐため、本体のモード変更操作を無効にする機能です。

チャイルドロックは電源・操作ボタンでは操作できません



チャイルドロックがかかると  が点灯します。

無効時



有効時



リモコンで操作する場合



Child Lock

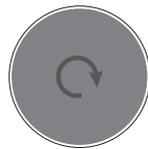
「Child Lock」を押すことでチャイルドロックが有効になります。

※リセットを行うとチャイルドロックが解除されます。
また、本体の電源・操作ボタン長押し（電源OFF・リセット）操作は有効です。

※チャイルドロック中のリモコン操作はできません。

リセットボタン

リモコンで操作する場合



Reset

「Reset」を押すことで
「-C-」表示を解除します。

「-C-」表示(お手入れのタイミングを
お知らせするマーク)が出た際に、
本体・各フィルターのお手入れ後、
リセット操作を行ってください。

※「-C-」表示は本体やフィルターの汚れ具合
に関係なく、累計稼働時間などをもとに
表示されます。
リセットを行うことで、累計稼働もリセット
され、次回のお手入れのタイミングを
お知らせします。

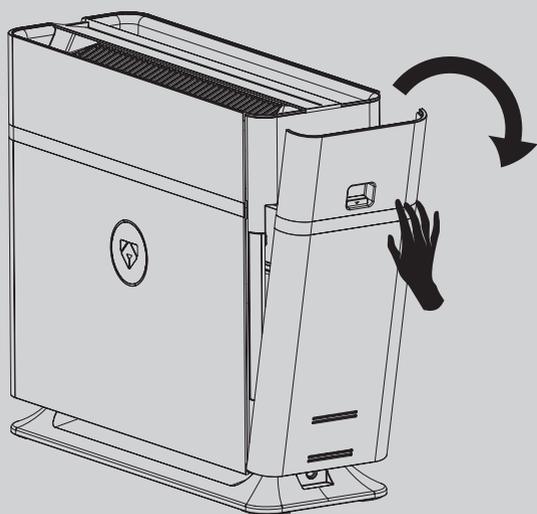
※本体の電源・操作ボタンを長押しする
ことでもReset可能です



Airdog のお手入れ方法



背面カバーの外し方



本体背面のカバーを外す

つまみ部分を指で押し下げて、手前に引きます。



フィルターを交換する際は、**電源を切って5分ほど経過してから**フィルターを外してください。

お手入れのタイミング

—— こんな時は、お手入れをしてください ——

使用状況により異なりますが1～2カ月に1回程度の定期的なお手入れをおすすめします。

① 本体からパチパチ音やジーツという音がした時

※故障ではありませんのでご安心ください。各フィルター・サポートゴムのお手入れをしてください。各フィルターのお手入れについては31～35ページをご確認ください。

② 長時間稼働させていても、本体モニターの数値が下がらなくなった時

※30分ほど経っても数値が変化しない場合は、大気センサーにゴミなどが付着している可能性があります。36ページをご確認いただき、センサーのお手入れをしてください。

③ 本体モニターに「-C-」の表示がされた時

リモコンの「Reset」ボタンで解除できます。

※お手入れをしても「-C-」の表示は解除されません。電源・操作ボタンを長押し、またはリモコンのResetボタンを押して解除してください。



④ 本体モニターに「9XX」(9で始まる3桁)の表示がされた時

※電源をオンにした際に、000や3桁の数値などが表示されますが、各種センサーの準備中のサインですので、故障ではありません。

※稼働中、モニターに「-C-」や「9XX」が表示されたら、各パーツを丁寧に掃除してください。

※すべてのパーツが正しく装着されていることをご確認ください。

※もし清掃後も「9XX」が表示される場合は、カスタマーセンターまでご連絡ください。



※電源・操作ボタンを長押し、またはリモコンの「Reset」ボタンを押しても「-C-」が消灯しない場合はカスタマーセンターまでご連絡ください。

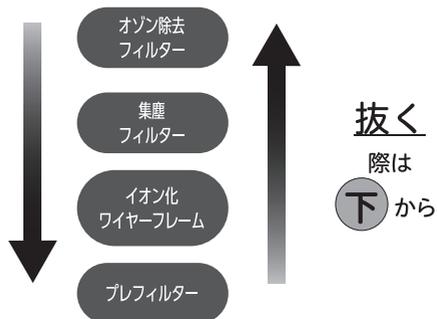
お手入れするパーツ



要注意

フィルターの 抜き差し順番

差す
際は
上から



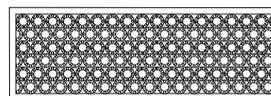
抜く
際は
下から

お手入れの際には、電源コードをコンセントから抜いてください。感電するおそれがあります。ベンジン、シンナー、アルコール、塩素系や酸性の洗剤などは使用しないでください。外装の劣化や部品が溶解するおそれがあります。
※フィルターを本体に戻す際は、上下を確認してください。上下反対のままフィルターを無理やり押し込むと故障の原因となります。

オゾン除去フィルター

× 水洗いNG

半年に1回程度

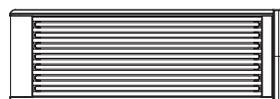


Airdogの空気清浄プロセスによりオゾンが発生しますが、このオゾン除去フィルターが、Airdogの空気排出口から出るオゾン濃度を国際安全基準0.05ppmよりもさらに安全な0.01ppmまで取り除きます。活性炭フィルターなので消臭効果を発揮します。

集塵フィルター

○ 水洗いOK

2か月に1回程度



帯電された汚染物質を0.0146 μ mまで吸着します。

※密閉された試験空間における結果であり、実使用空間における実証結果ではありません。使用環境、お部屋の条件により効果は異なります。

【試験機関】 National Air Cleaner & Gas detect Production Quality Inspection Center (Jiangsu)

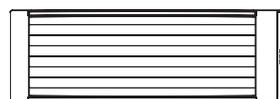
【試験方法】 30m³の試験空間で Airdog 稼働時の除去効率と自然減衰率を比較

【試験対象】 粒子状物質 (14.6nm、51.4nm、101.8nm) 【風量】 L4 【試験結果】 0.0146 μ mの粒子を 48 分で 99.9% 以上除去 ※X1Dを用いた試験結果です。

イオン化ワイヤーフレーム

× 水洗いNG

2か月に1回程度

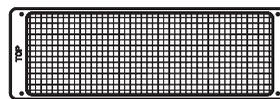


電磁場を作り、汚染物質にプラスイオンを帯電させます。

プレフィルター

○ 水洗いOK

2か月に1回程度

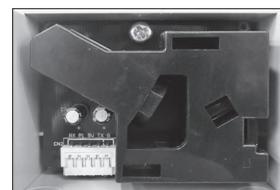


大きなホコリや髪の毛を取り除きます。

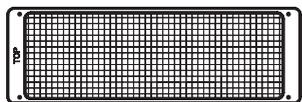
大気センサー

× 水洗いNG

2か月に1回程度



空気の汚れを感知するセンサーです。



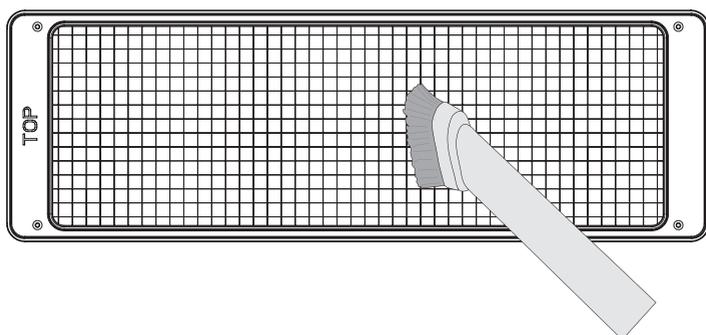
プレフィルターの お手入れ方法

○ 水洗いOK

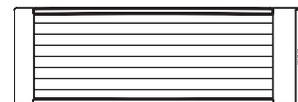
2カ月に1回程度

※ご利用環境により、お手入れ頻度は異なります。

水洗いするか、掃除機のブラシを使って掃除する。



- 硬いブラシを使用したり、強くこすると破損の原因になります。
- 洗浄後は十分に乾燥させてください。
濡れた状態のまま本体へ挿入すると、故障の原因となります。
- ⚠ 取り外し、取り付けの際は必ず電源コンセントを抜いて、
電気が通っていない状態でおこなってください。



イオン化ワイヤーフレームの お手入れ方法

× 水洗いNG

2カ月に1回程度

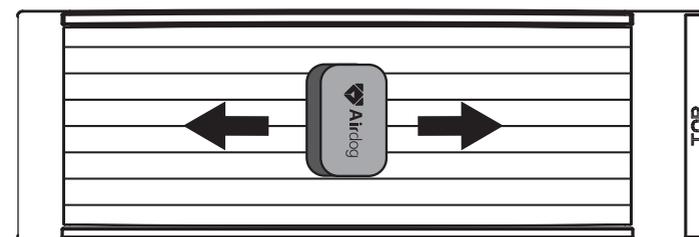
※ご利用環境により、お手入れの頻度は異なります。
また、ペット飼育・喫煙環境下で使用されている方は、汚れ具合に応じて、
お手入れしてください。

付属の専用クリーナーで乾拭きする。

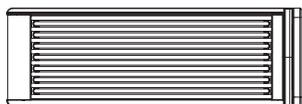
※ロゴのついていない面(グレーの面)をワイヤーにあててください。



イオン化ワイヤーフレームが汚れていると異音の原因となりますので、ワイヤーの
端から端まで丁寧に掃除してください。



- 硬いスポンジを使用したり、強い力を加えると破損の原因になります。
- 水洗いは厳禁です。汚れがひどい場合は、硬く絞った布やスポンジを使って
お手入れしてください。
※完全に乾燥していることを確認後、本体にお戻しください。
濡れた状態で使用すると故障の原因となります。
- ⚠ 取り外し、取り付けの際は必ず電源コンセントを抜いて、
電気が通っていない状態でおこなってください。
- ⚠ イオン化ワイヤーフレームの断線やゆるみ等ある場合は、
使用を中止いただき、部品の交換が必要です。



しゅうじん
集塵フィルターの
お手入れ方法

○ 水洗いOK

2カ月に1回程度

※ご利用環境により、お手入れ頻度は異なります。



フィルターをお手入れする際は、電源を切って5分ほど経過してからフィルターを取り外してください。



集塵フィルターは分解しないでください。

1 中性洗剤をつける（お掃除用・食器洗い用どちらでも構いません）

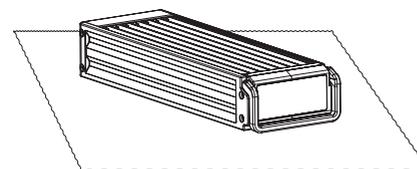
※汚れがひどい場合は弱アルカリ性洗剤をご使用いただけますが、その際はゴム手袋をお使いください。



2 お風呂場やシンクで付属の専用ブラシを使用して水洗いする



3 約1日かけて十分に乾燥させる



浴室乾燥機を使うことでより早く乾燥させることも可能です。

直射日光の当たらない、風通しの良い場所で約1日かけて乾燥させます。



集塵フィルターは重いため、取扱いに十分ご注意ください。



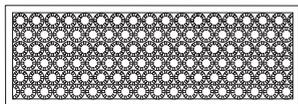
集塵フィルターには鋭利な箇所があるため手を傷つけないように注意してください。



完全に乾燥していることを確認後、本体にお戻しください。
濡れた状態で使用すると故障の原因になります。



取り外し、取り付けの際は必ず電源コンセントを抜いて、
電気が通っていない状態でおこなってください。



オゾン除去フィルターのお手入れ方法

× 水洗いNG

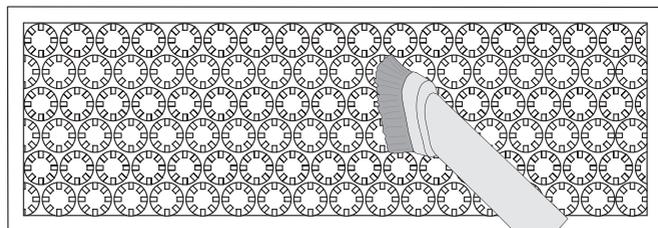
半年に1回程度

※ご利用環境により、お手入れ頻度は異なります。

掃除機などを使って付着物を取り除く。



水洗いするとフィルター性能が著しく低下する可能性があります。



陰干しをするとニオイを取り除くこともできます

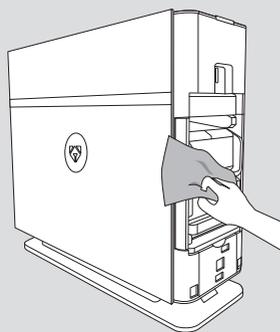


絶対に水洗いをしないでください。



取り外し、取り付けの際は必ず電源コンセントを抜いて、電気が通っていない状態でおこなってください。

その他のお手入れについて



■ サポートゴム(グレーのゴム部分)

サポートゴム部分のお手入れも定期的におこなってください。

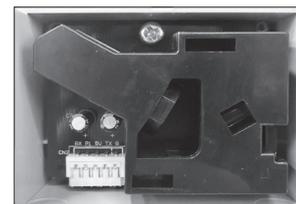
- ◎ 硬く絞った布で汚れた部分をよく拭き取ってください。
- ◎ 拭き取り後は十分に乾燥させてください。

- ⊘ 濡れた状態のままフィルターを挿入すると、異音や故障の原因となります。

■ 本体外装

本体外装を柔らかい布で乾拭きしてください。

- ⊘ 硬い布やスポンジを使用すると外装に傷が付く可能性があります。



大気センサーのお手入れ方法

× 水洗いNG

2か月に1回程度

※ご利用環境により、お手入れ頻度は異なります。

大気センサーは本体背面にあります。

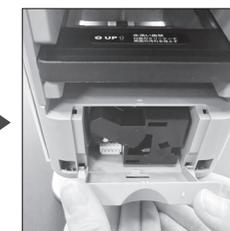
※カバーを外す時は、以下の手順で行ってください。



①プレフィルターを取り出します。



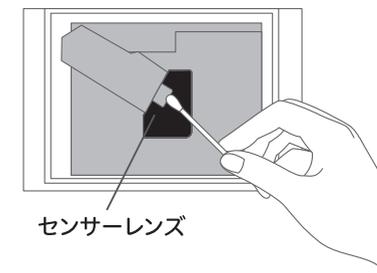
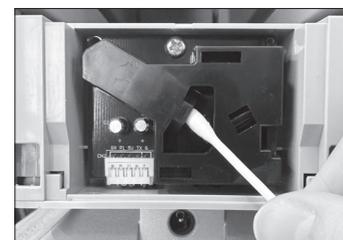
②大気センサーカバーを上をスライドさせるとカバーが外れます。



乾いた綿棒を使ってセンサーについたホコリを拭き取る。



汚れがひどい場合は市販のアルコール製剤又はレンズクリーナーを綿棒に染み込ませてお手入れしてください。



センサーレンズ

掃除機のノズルを使って異物を吸い取ることもできます。



大気センサーが汚れていると、モニターに正しい数値が表示されなかったり、本体からパチパチという異音が発生する場合があります。

故障かな？と思ったら

本体から
異音(パチパチ音や
ジーという音)
がする…

エアドッグはフィルター類が汚れていると、本体からパチパチ音やジーという異音が生じる場合があります。故障ではありませんので、異音が生じた際は本書をよく読み**各フィルターの掃除をおこなってください。**

電源が
入らない…

本体背面のカバーがしっかり閉まっていない可能性があります。エアドッグ本体にインターロックが付いている為、本体背面のカバーをしっかり閉じた状態でないと、電源が入らない仕様となっております。本体背面のカバーがしっかり閉まっていることをご確認ください。

使用中、
突然電源が
切れてしまう…

フィルター類が汚れている場合、モーターに負担をかけないように自動的に電源をオフにしたり、再起動する場合があります。本書をよく読み**各フィルターの掃除をおこなってください。**

本体の
モニターに
「-C-」、「9XX」
という表示が…

本体モニターに「-C-」や9で始まる3桁の数字が表れたら、クリーニング(お掃除)のタイミングです。

各フィルターの掃除をおこなってください。

※お掃除後も「-C-」の表示が出る場合は、本体ホームボタンの長押し、またはリモコンの「Reset」ボタンで解除できます。

※電源をオンにした際に、000や3桁の数値などが表示されますが、各種センサーの準備中のサインですので、故障ではありません。

白い粉が
本体の周りや
フィルター内に
付着している…

超音波加湿器、アロマ、次亜塩素酸水などが影響している可能性があります。超音波加湿器などで水道水を使用する場合、排出される水分にはカルキ等の成分が含まれており、その粒子が床に付着し乾燥することにより白い粉として残ることがあります。これら超音波加湿器等をエアドッグの近くで稼働させると、エアドッグが水分粒子まで吸引することでエアドッグ本体のまわりやフィルター内に白い粉を集めることがあります。

超音波加湿器やアロマ、次亜塩素酸水との併用はおすすめていたしません。

モニターの
数値が
下がらない…

異常値を
示している…

黄砂や花粉が多い時期

日本の住宅は24時間換気をおこなっているものが多く、たとえ窓を締め切っていても屋外の空気を絶えず室内に取り込んでいます。黄砂や花粉が多い時期は長時間モニター数値が下がらないことがあります。エアドッグが室内の空気を清浄し続けている証拠です。故障ではありませんのでご安心ください。

超音波加湿器や次亜塩素酸噴霧器、アロマ等を使用している

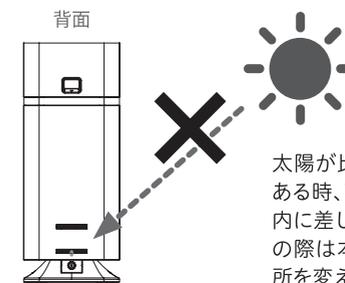
エアドッグは超音波加湿器や次亜塩素酸噴霧器、アロマディフューザーが発する粒子を感知する場合があります。超音波加湿器やアロマ、次亜塩素酸水との併用はおすすめていたしません。

イオン化ワイヤーフレームが切れている

イオン化ワイヤーフレームをお確かめください。もしワイヤーが破損している場合は使用を中止し、カスタマーセンターまでご連絡ください。

センサーに直射日光が差し込んでいる

本体の背面に朝日や西日など強い直射日光が差し込まない場所に設置してください。大気センサーが内蔵されており、強い光が差し込むことでセンサーの誤動作の原因となります。



太陽が比較的に低い位置にある時、直射日光がセンサー内に差し込みやすいため、その際は本体の向きや置き場所を変えてください。

よくある質問

ACアダプタが熱くなっている・・・	稼働している際は多少の発熱はありますが、性能上問題ございません。触れることが出来ないほど発熱した場合は直ちにコンセントから電源プラグを抜き、カスタマーセンターまでご連絡ください。																		
加湿器と併用できますか？	エアドッグモイまたは気化式加湿器との併用は可能です。加熱式の場合は蒸気を直接吸い込まない程度離してご使用ください。 超音波式の加湿器はカルキ成分も噴霧されているため本体周りやフィルターに白い結晶が固着し、異音発生の原因となる可能性があります。超音波加湿器との併用はおすすめたしません。																		
フィルター掃除した後も『-C-』マークが消えないのですが・・・	『-C-』マークは自動で消灯しません。掃除後に電源・操作ボタンを長押し、またはリモコンの『Reset』ボタンを押してください。																		
風量モード別の運転音と消費電力は？	<table border="1"><thead><tr><th>風量モード</th><th>音量</th><th>消費電力</th></tr></thead><tbody><tr><td>Sleep</td><td>27.2dB</td><td>6.7W</td></tr><tr><td>L1</td><td>27.2dB</td><td>7.5W</td></tr><tr><td>L2</td><td>36.5dB</td><td>10.51W</td></tr><tr><td>L3</td><td>41dB</td><td>10.94W</td></tr><tr><td>L4</td><td>47.7dB</td><td>20W</td></tr></tbody></table>	風量モード	音量	消費電力	Sleep	27.2dB	6.7W	L1	27.2dB	7.5W	L2	36.5dB	10.51W	L3	41dB	10.94W	L4	47.7dB	20W
風量モード	音量	消費電力																	
Sleep	27.2dB	6.7W																	
L1	27.2dB	7.5W																	
L2	36.5dB	10.51W																	
L3	41dB	10.94W																	
L4	47.7dB	20W																	



仕様

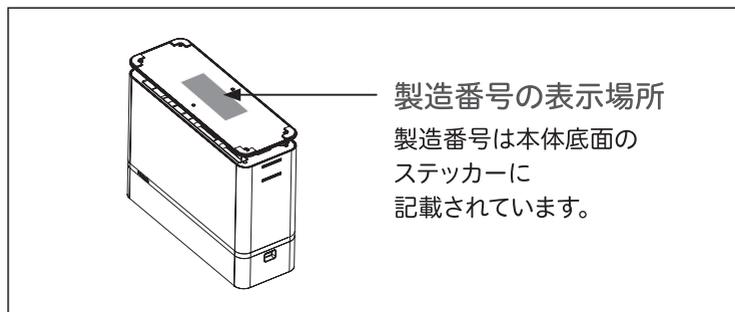
モデル	X1D
清浄空気供給量 ^{※1}	30分間で23㎡分のキレイな空気を供給
エアドック おすすめスペース	お部屋やデスク上やテーブル下など 場所を選ばず設置可能(~7畳) 日本電機工業会基準(JEM1467)に基づく
最小除去粒子 ^{※2}	0.0146μm
定格電力	20W
電源	本体:DC13V ACアダプタ:AC100-240V 50/60Hz
質量	4.25kg(ACアダプタ含む)
サイズ	高さ 31 × 奥 35.5 × 幅 12.4(cm)

※密閉された試験空間における結果であり、実使用空間における実証結果ではありません。使用環境、お部屋の条件により効果は異なります。

※1 キレイな空気とは、試験対象物質(タバコ煙粒子)を含まない清浄空気のことであり、清浄空気供給量は、GB/T規格(GB/T18801-2022)により外部機関(China CEPREI Laboratory)で試験して得られたCADR値に基づいた数値より算出した清浄空気の供給量を示す。AHAM規格に基づく数値ではありません。部屋の高さを2.4mとして算出

※2 【試験機関】National Air Cleaner & Gas detect Production Quality Inspection Center(Jiangsu)【試験方法】30㎡の試験空間でAirdog稼働時の除去効率と自然減衰率を比較【試験対象】粒子状物質(14.6nm、51.4nm、101.8nm)【風量】L4【試験結果】0.0146μmの粒子を48分で99.9%以上除去

※X1Dを用いた試験結果です



お問い合わせ

アフターサービスについて

本製品をご使用の際に不明な点などがございましたら、
下記カスタマーセンターまでお問い合わせください。

エアドッグジャパン・カスタマーセンター

0120-333-463

受付時間:月~土 9:00~18:00(日・祝除く)



LINEでもお問い合わせできます。

廃棄について(リサイクル)

外箱や梱包材	外箱などの梱包材の分別方法は、地域によって異なります。 お住まいの市区町村のルールに従って分別・廃棄してください。 識別マークは外箱に表示されています。
製品	廃棄のしかたは、お住まいの市区町村のルールに従ってください。

[開発] Airdog USA Inc.

[輸入販売元] 株式会社エアドッグジャパン

〒105-7115 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター15階